NEWS RELEASE

名古屋市東区東桜一丁目 1 番 1 号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

2025 年 12 月 18 日

各 位

日本特殊陶業株式会社

「Niterra（ニテラ）って？」Niterra グループ事業紹介動画を公開

～Niterra グループの取り組みを当社グループ注力ドメインである「モビリティ」「半導体」「環境・エネルギー」の観点からご紹介～

Niterra グループ 日本特殊陶業株式会社（社長：川合 尊、本社：名古屋市東区）は、新たな 3 種類の動画を制作し、12 月 20 日（土）から TV-CM の放映を開始します。



グラフィック イメージ

2023 年 4 月 1 日から「Niterra グループ」として生まれ変わった当社グループは、現在「中期経営計画 2030」（2025 年 11 月 6 日発表）の達成と、さらにその先に掲げる、ありたい姿の実現に向けて、グループ一丸となって取り組んでいます。

そこで今回の新動画では、「Niterra グループ」を多くの皆さまに知っていただく取り組みの一環として、私たちが注力する「モビリティ」「半導体」「環境・エネルギー」の 3 つのドメイン毎に Niterra グループの技術や取り組みの一部をご紹介しています。

※中期経営計画 2030：https://www.niterragroup.com/ir/management/pdf/medium-term_management_plan.pdf

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

モビリティ篇では、日特スパークテック WKS が製造する「NGK スパークプラグ*1」をはじめ、セラミックセンサが製造する「酸素センサ*2」や Niterra Materials の「窒化ケイ素ボール*3」が登場。そして、**半導体篇**では、NTK セラテックの「半導体製造装置用製品*4」を、**環境・エネルギー篇**では、当社の取り組みである「リバーシブル SOC システム*5」「「水素の森」プロジェクト*6」「地域 CCU®*7」をお伝えしています。

※上記でご紹介している各社はいずれも Niterra グループです。

Niterra グループが目指す「地球を輝かせる企業」となるための取り組みや想いを動画を通じて、ぜひご体感ください。

【新 TV-CM】

・「Niterra って？」モビリティ篇
・「Niterra って？」半導体篇
・「Niterra って？」環境・エネルギー篇

【放映概要】

2025 年 12 月 20 日（土）～ 放映開始
・テレビ CM 放送エリア：関東、関西、東海、宮城、大分、鹿児島
当社グループの拠点があるエリアで放映します。ぜひご覧ください。
・テレビ以外の配信先：YouTube、TVer、屋外サイネージ広告など
※一部、交通広告で 12 月 15 日（月）より放映されるものもあります。

⇒当社の WEB サイトでも公開しております。こちらも是非ご覧ください。
CM 特設サイトはこちら：https://www.niterragroup.com/corporate/advertising/cm2025/

＊1：スパークプラグ
当社のスパークプラグは国産初。今では世界シェア No.1 です。**エンジンを動かす重要な役割**を果たしており、プラグがなければ自動車は走ることができません。独自のセラミックス技術でエンジン内部の過酷な環境に耐える性能や燃費向上を実現。**燃費を向上させることで CO_2 排出量を削減するなど、環境保全にも貢献**しています。

＊2：酸素センサ
エンジンを安全で効率的に動かすために振動や排気ガスをセンシングする自動車の中枢部品。**エンジンの異常検知や排気ガスのクリーン化、省燃費に貢献**しています。自動車内部の過酷な環境下でも、早く正確にセンシングすることを可能とする独自技術により、近年高まる厳しい排気ガス規制に適応することができます。

＊3：窒化ケイ素ボール
工作機械用部品やインバーターモーターなどに使用されるベアリング用ボールです。軽量で高強度な窒化ケイ素材料を使用しており、摩擦が少なく滑らかであるため、少ない潤滑油でも使用することができます。インバーターの高性能化やモーターの高速回転化のトレンドにより、**EV や半導体製造装置用途での使用も拡大**しています。

＊4：半導体製造装置用製品
半導体の製造工程で使われるさまざまな部品を提供しています。セラミックスが静電気を帯びる特性を活かした静電チャックは、材料開発から仕上加工まで一貫しておこなっており、**半導体の基盤となるシリコンウェハの表面温度を均一に保つ独自技術で半導体の品質を向上**させています。今後も **IoT 社会に欠かせない、半導体の生産効率向上に寄与**しています。

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

＊5：リバーシブル SOC システム
当社は、これまで培ってきた燃料電池の技術を活用した「リバーシブル SOC システム」の開発に取り組んでいます。このシステムでは、**水電解による水素製造と燃料電池による発電を１台のセルスタックで実現**します。このシステムの開発により、**再生可能エネルギー比率増加に伴う余剰電力の増加という社会課題に対応することが可能**となり、**脱炭素・水素循環型社会への貢献**が期待されます。

＊6：「水素の森」プロジェクト
SUISO no MORI（「水素の森」プロジェクト）は、**水素と炭素循環社会の早期実現を目指し、関連技術を中心に支援する仕組み**です。『ファンド出資』、『実証施設の提供』、『育成プログラム』などで、スタートアップの皆さんのアイデアを実現へと後押しします。

＊7：地域 CCU®
工場から排出される CO_2 を回収し、資源として活用することで今の産業を活かしながら、サステナブルな街を実現していく構想です。CCU（CO_2回収・利活用技術：Carbon dioxide Capture Utilization）を軸に CO_2排出量・需要量、再生エネルギー電気の製造量を最適にマネジメントすることで **CO_2、水素、合成燃料、電気を地域で融通、循環させ、地域の特色を活かしたカーボンニュートラル社会の実現に貢献**します。

以 上